

1 1. 申請者の研究歴等

<p>発表業績：著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年（西暦）・巻号（最初と最後の頁）</p>
--

1 2. 厚生科学研究費補助金の各研究推進事業に推薦する予定の研究者

年 度	外国人研究者招へい事業	外国への日本人研究者派遣事業	若手研究者育成活用事業 (リサーチ・レジデント)
平成 年度	名	名	名
平成 年度	名	名	名
平成 年度	名	名	名

13. 研究に要する経費

(1) 各年度別経費内訳

(単位：千円)

年 度	研究経費	内 訳							
		謝 金	旅 費	備品費	消耗品費	借料及び損料	賃 金	その他	委託費
平成 年度									
平成 年度									
平成 年度									
合 計									

(2) 備品の内訳 (50万円以上の備品については、原則として賃借によること)

ア. 借料及び損料によるもの (賃借による備品についてのみ記入すること)

年 度	備 品 名	賃 借 の 経 費 (単位：千円)	数 量
平成 年度			
平成 年度			
平成 年度			

イ. 備品費によるもの (50万円以上の備品であって、賃借が不可能なものについてのみ記入すること)

年 度	備 品 名	単 価 (単位：千円)	数 量
平成 年度			
平成 年度			
平成 年度			

(3) 委託費の内訳

(単位：千円)

年 度	委 託 内 容	委 託 先	委 託 費
平成 年度			
平成 年度			
平成 年度			

14. 他の研究事業等への申請状況 (当該年度)

(単位：千円)

研究事業名	研 究 課 題 名	補助要求額	所管省庁等

15. 研究費補助を受けた過去の実績 (過去3年間)

(単位：千円)

年 度	研究事業名	研 究 課 題 名	補助額	所管省庁等
年度				
年度				
年度				
年度				
年度				
年度				
年度				

作成上の留意事項

1. 本研究計画書は、申請課題の採択の可否等を決定するための評価に使用されるものである。
2. 厚生労働大臣名は、研究計画書提出日現在、在職の大臣名を記入すること。
3. 「申請者」について
 - (a) 氏名は、自署又は記名押印で記入すること。ただし、法人にあっては記名押印とすること。
 - (b) 住所は、申請者の現住所を記入すること。
4. 「1. 研究課題名」について
 - (a) 研究の目的と成果がわかる課題名にすること。
 - (b) カッコ内には当該事業年度の厚生労働科学研究費補助金公募要項により定める公募課題番号を記入すること。
5. 「2. 当該年度の計画経費」について
 - ・ 当該事業年度（1会計年度）の研究計画経費を記入すること。
6. 「3. 当該年度の研究事業予定期間」について
 - ・ 当該事業年度中の研究事業予定期間を記入すること。なお、特段の理由がない限り、4月1日から翌年3月31日と記入すること。複数年度にわたる研究の場合は、研究期間は、原則として3年を限度とする。なお、複数年度に渡る研究の継続の可否については、毎年度の研究計画書に基づく評価により決定されるものとする。
7. 「4. 申請者及び経理事務担当者」について
 - (a) (1)は、申請者が勤務する施設の正式名称を記入すること。
 - (b) (6)は、申請者が専攻した科目のうち当該研究事業に関係あるものについて記入すること。
 - (c) (7)の経理事務担当者には、当該研究に係る経理及び連絡等の事務的処理を担当する経理事務に卓越した同一所属機関内の者を置くこと。
8. 「5. 研究組織」について（追加記載項目：研究者ID、エフォート）
 - (a) 申請者（主任研究者）及び分担研究者（主任研究者と研究項目を分担して研究を実施し、分担する研究の遂行に必要な経費の責任を負うとともに、分担する研究の成果についてまとめる責任を負う者をいう。）について記入すること。（研究協力者（主任研究者の研究計画の遂行に協力する者（分担研究者を除く。）をいう。）については記入する必要はない。）
 - (b) なお、主任研究者及び研究費の配分額の多い者から順に10名以内の分担研究者については、研究者名の下に、それぞれ所属機関等により付与された研究者IDを記入すること。当面、大学関係又は国や特殊法人等の研究機関に所属する研究者をID記入の対象とする。
 - (c) 主任研究者又は分担研究者は、研究者が当該研究の実施に必要とする時間の配分率（%）いわゆるエフォートについて、研究者の年間の全仕事時間（正規の勤務時間に限らない）を100%として小数点以下を四捨五入して整数とし、研究者IDの下に記入すること。研究費の配分額の多い者から順に10名以内の分担研究者をエフォート記載の対象とする。なお、このエフォートについては、各研究者が当該研究について何%ずつ分担するのかを問うものではないので気をつけること。
9. 「6. 研究の概要」について（追加記載項目：研究分野、研究キーワード、研究開発の性格）
 - (a) はじめに、研究分野、研究キーワード、研究開発の性格について記載すること。
 - (b) 主たる研究分野を「重点研究分野コード表」より選び、研究区分番号、重点研究分野、研究区分を記入するとともに、関連する研究分野（最大3つ）について同様に記入すること。
 - (c) 当該研究の内容に則した、研究キーワードについて、「研究キーワード候補リスト」より選び、コード番号、研究キーワードを記入すること（最大5つ）。該当するものがない場合、30字以内で独自のキーワードを記入すること。
 - (d) 研究開発の性格として、基礎研究、応用研究、開発研究のいずれにあたるかを記載すること。
 - (e) 「7. 研究の目的、必要性及び期待される成果」から「10. 研究計画・方法及び倫理面への配慮」までの要旨を1,000字以内で簡潔に記入すること。
 - (f) 複数年度に渡る研究の場合には、研究全体の計画と当該事業年度の計画がわかるように記入すること。
10. 「7. 研究の目的、必要性及び期待される成果」について

- (a) 研究の目的、必要性については、厚生労働行政の課題との関連性を含めて1, 000字以内で記入すること。
- (b) 期待される成果については、当該研究によって直接得られる研究結果だけでなく、間接的に期待される社会的成果（社会への貢献、国民の保健・医療・福祉の向上等）についても記入すること。
11. 「8. この研究に関連する国内・国外における研究状況及びこの研究の特色・独創的な点」について
- (a) 解決すべき課題について、他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかについて800字以内で記入すること。
- (b) 歴史的経過及び現状がわかるように記入すること。
- (c) 必要に応じて参考文献を示すこと。
12. 「9. 申請者がこの研究に関連して現在までに行った研究状況」について
- ・「8. この研究に関連する国内・国外における研究状況及びこの研究の特色・独創的な点」との関連がわかるように800字以内で記入すること。
13. 「10・研究計画・方法及び倫理面への配慮」について
- (a) 研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を1, 600字以内で記入すること。
- (b) 複数年度に渡る研究の場合には、研究全体の計画と年次計画がわかるように記入すること。
- (c) 「倫理面への配慮」には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解（インフォームドコンセント）に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮などを必ず記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨記入するとともに必ず理由を明記すること。
- (d) 人または動物を用いた研究を行う際に、事前に申請者の所属施設内の倫理委員会等において倫理面からの審査を受けた場合には、審査内容を必ず添付すること。
14. 「11. 申請者の研究歴等」について
- (a) 申請者の研究歴について、研究を行った研究機関名、共同研究者（又は指導を受けた研究者）、研究課題、研究機関等について記入すること。
- (b) 発表業績には、主任研究者及び分担研究者ごとに、それぞれ過去3年間に学術誌等に発表した論文・著書のうち、主なものを選択し、直近年度から順に記入すること。また、この研究に直接関連した論文・著書については、著者氏名の前に○を付すこと。
15. 「12. 厚生科学研究費補助金の各研究推進事業に推薦する予定の研究者」について
- ・申請者が、厚生科学研究費補助金の各研究推進事業に推薦を予定している研究者の人数について記入すること。
- なお、既に研究推進事業として実施されているものについては、実績の人数を記入すること。
16. 「13. 研究に要する経費」について
- (a) 当該研究課題に要する経費を、年度別に記入すること。
- (b) 50万円以上の備品については、原則として賃借によること。
- (c) 「(2)備品の内訳」は、当該研究の主要な備品で、50万円以上のものを「ア. 借料及び損料によるもの」「イ. 備品費によるもの」に分けて記入すること。
- (d) 「イ. 備品費によるもの」については、賃借が不可能な備品についてのみ記入すること。
17. 「14. 他の研究事業等への申請状況」について
- ・当該年度に申請者が、国又は地方公共団体若しくはその他の団体へ研究費の申請を行おうとしている場合について記入すること。
18. 「15. 研究費補助を受けた過去の実績」について
- ・申請者が、過去3年間に国又は地方公共団体若しくはその他の団体から研究費の補助を受けたことがあれば、直近年度から順に記入すること。（事業数が多い場合は、主要事業について記入すること。）
19. その他
- (a) 手書きの場合は、楷書体で作成すること。
- (b) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。
- (c) 申請者が法人である場合は、特段の指示がない限り本様式に準じて作成すること。

(記入例)

様式第 1 (第 7 条関係)

平成 14 年度厚生労働科学研究費補助金 (〇〇〇〇〇〇〇〇 研究事業) 研究計画書 (新規申請用)
 申請日現在在職の大臣名 厚労 太郎 殿 平成 14 年 〇〇 月 〇〇 日
 厚生労働大臣 厚労 太郎 殿

住所 〒100-0000 東京都 〇〇 区幸町 100
 申請者 氏名 山田 太郎 自署又は記名押印
 生年月日 1950 年 1 月 1 日生

平成 14 年度厚生労働科学研究費補助金による 〇〇〇〇〇〇〇〇 研究事業を実施したいので、
 次のとおり研究計画書を提出する。
 研究の目的と成果が分かる課題名とすること

- 研究課題名 (公募課題番号) : 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 に関する研究 (10110101)
 当該年度 (1 会計年度) の研究事業を遂行するために必要な経費 (要望額)
- 当該年度の計画経費 : 金 30,000,000 円也 特段の理由がない限り、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日と記入すること。
- 当該年度の研究事業予定期間 : 平成 14 年 4 月 1 日から平成 15 年 3 月 31 日
 (3) 年計画の 1 年目
- 研究者及び経理事務担当者

申請者 (研究者)	①所属施設 (部局)	国立厚生労働センター 疾病研究部	②所属施設所在地	〒100-0000 東京都〇〇区幸町200	
	③連絡先 TEL・FAX E-mail	TEL 03-3333-1111(内線)100 FAX 03-3333-2222 E-mail AB-ABC@abc.go.jp	④所属施設に おける職名	疾病研究部長	
	⑤最終卒業学校・卒業年次及び学位	霞ヶ関大学医学部 昭和48年卒 医学博士	⑥専攻科目	感染症内科	
経理事務担当者	(フリガナ) ⑦氏名	タナカ ハナコ 田中 花子	⑧連絡先 所属施設・TEL FAX・E-mail	〒100-0000 東京都〇〇区幸町200 国立厚生労働センター疾病研究部 TEL 03-3333-1111 (内線)200 FAX 03-3333-3333	

5. 研究組織

研究者 ID (研究機関により付与された ID)

①研究者名	②分担する研究項目	③最終卒業学校・卒業年次・学位及び専攻科目	④所属施設及び現在の専門 (研究実施場所)	⑤所属施設における職名	⑥研究費配分予定額 (千円)
山田 太郎 2012300001 (エフォート50%)	〇〇〇研究 (総括)	霞ヶ関大学医学部 昭和48年卒、医学博士、血液内科	国立厚生労働センター 疾病研究部	部長	45,000 5,000
鈴木 花子 2023400002 (エフォート30%)	〇〇〇〇〇の測定及び分析	丸の内大学医学部 、昭和61年卒、医学博士、疫学	丸の内大学難病研究所	助手	

研究協力者の記入は必要ない。

配分予定額を記入、又は主任研究者一括計上と記入のこと。

エフォート

書類提出時には、ページを付すこと。

6. 研究の概要

・はじめに、研究分野、研究キーワード、研究開発の性格について記載すること。

例) 研究主分野 : 101、ライフサイエンス、ゲノム

研究副分野 1 : 102、ライフサイエンス、医学・医療

研究副分野 2 : 104、ライフサイエンス、脳科学

研究副分野 3 : 105、バイオインフォマティクス

研究キーワード 1 : 1、遺伝子

研究キーワード 2 : 2、ゲノム

研究キーワード 3 : 6、核酸

研究キーワード 4 : 7、細胞、組織

研究キーワード 5 : -、システム生物学

研究開発の性格 : 応用研究

重点研究分野コード表より
選び、番号、重点研究分野、
研究区分を記入

研究キーワード候補リスト
より選び、コード番号
研究キーワードを記入

該当するものがない場合30字以内で独自に記入

基礎研究、応用研究、開発研究のいずれに当たるかを記載

・「7. 研究の目的、必要性及び期待される成果」から「10. 研究計画・方法及び倫理面への配慮」までの要旨を1,000字以内で図表等を用いたり簡条書きにして工夫するなど簡潔に記入すること。

・分担研究者がいる場合には、主任研究者が進めようとする目的の達成のために、主任及び分担研究者の受け持つ各研究がどのように関連し進んでいくかがわかるように明確に記入すること。

・複数年度に渡る研究の場合には、研究全体の計画と当該年度の計画がわかるように記入すること。

7. 研究の目的、必要性及び期待される成果

・厚生労働行政の課題との関連性を含めて1,000字以内で記入すること。

・なお、期待される成果については、当該研究によって直接得られる研究結果だけでなく、当該研究を行うことにより、国民あるいは社会に対してどのような貢献（国民の保健・医療・福祉の向上等）ができるのかについても記入すること。

・複数年度に渡る研究の場合には、当該年度で達成できる予想成果も記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

8. この研究に関連する国内・国外における研究状況及びこの研究の特色・独創的な点

- ・解決すべき課題について、他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかについて800字以内で記入すること。
- ・歴史的経過及び現状がわかるように記入すること。
- ・必要に応じて参考文献を示すこと。

9. 申請者がこの研究に関連して現在までに行った研究状況

- ・「8. この研究に関連する国内・国外における研究状況及びこの研究の特色・独創的な点」との関連がわかるように800字以内で記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

10. 研究計画・方法及び倫理面への配慮

- ・ 研究目的を達成するための研究目標、研究仮説及びその解明方法を図表等を用いたり箇条書きにするなど工夫して1,600字以内で記入すること。
- ・ 分担研究者がいる場合には、分担研究者の協力体制等についても記入すること。
- ・ 複数年度に渡る研究の場合には、研究全体の計画と年次計画がわかるようにするとともに、当該年度で目指す研究目標、研究仮説及びその解明方法を記入すること。

倫理面への配慮

- ・ 研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解（インフォームドコンセント）に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮などを必ず記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨記入するとともに必ず理由を明記すること。
- ・ 人又は動物を用いた研究を行う際に、事前に申請者の所属施設の倫理委員会等において倫理面からの審査を受けた場合には、審査内容を必ず添付すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

1 1. 申請者の研究歴等

・申請者について研究を行った研究機関名、共同研究者(又は指導を受けた研究者)、研究課題、研究機関等について記入すること。

発表業績：著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年（西暦）・巻号（最初と最後の頁）

(主任研究者)

○ Suzuki H, Nakamura K, Yamada T and Yamamoto H, Synaptophysin and chromogranin A immunoreactivities of lewy in Parkinson's disease Brain Res 1993 234:123-132.

主任研究者及び分担研究者ごとに、それぞれ過去3年間に学術誌等に発表した論文・著書のうち、主なものを選択し、直近年度から順に記入すること。また、本研究課題に直接関連した論文・著書については、著者氏名の前に○を付すこと。

(分担研究者)

1 2. 厚生科学研究費補助金の各研究推進事業に推薦する予定の研究者

年 度	外国人研究者招へい	外国への日本人研究者派遣事業	若手研究者育成活用事業(リサーチ・レジデント)
平成14年度	1名	1名	2名
平成15年度	1名	1名	2名
平成16年度	1名	1名	2名

複数年度に渡る研究を行う場合に記入すること。

書類提出時には、ページを付すこと。

1.3. 研究に要する経費

内訳については、公募要項6. 補助対象基準額一覧表を参考に算出すること。

(1) 各年度別経費内訳

(単位：千円)

年 度	研究経費	内 訳							
		謝 金	旅 費	備品費	消耗品費	借料及び損料	賃 金	その他	委託費
平成14年度	50,000	1,000	1,000	2,000	34,000	5,000	1,000	1,000	5,000
平成15年度	30,000	1,000	1,000	2,000	14,000	5,000	1,000	1,000	5,000
平成16年度	30,000	1,000	1,000	2,000	14,000	5,000	1,000	1,000	5,000
合 計	110,000	3,000	3,000	6,000	62,000	15,000	3,000	3,000	15,000

複数年度に渡る研究を行う場合に記入すること。

(2) 備品の内訳 (50万円以上の備品については、原則として賃借によること)

ア. 借料及び損料によるもの (賃借による備品についてのみ記入すること)

年 度	備 品 名	賃借の経費 (千円)	数 量
平成14年度			
単価50万円以上の備品でリース等の賃借契約を行う予定のものを記入すること。			
平成15年度			
平成16年度			
複数年度に渡る研究を行う場合に記入すること。			

イ. 備品費によるもの (50万円以上の備品であって、賃借が不可能なものについてのみ記入すること)

年 度	備 品 名	単 価 (千円)	数 量
平成14年度			
単価50万円以上の備品でリース等の賃借契約が不可能であり、やむを得ず購入する予定のものを記入すること。			
平成15年度			
平成16年度			
複数年度に渡る研究を行う場合に記入すること。			

書類提出時には、ページを付すこと。

(3) 委託費の内訳

(単位：千円)

年 度	委 託 内 容	委 託 先	委 託 費
平成14年度			
平成15年度			
平成16年度			

複数年度に渡る研究を行う場合に記入すること。

14. 他の研究事業等への申請状況 (当該年度)

(単位：千円)

研究事業名	研 究 課 題 名	補助要求額	所管省庁等
〇〇〇研究費	〇〇〇〇に関する研究	12,000	文部科学省
当該年度に申請者が、国又は地方公共団体若しくはその他の団体へ研究費の申請を行おうとしている場合について記入すること。			

15. 研究費補助を受けた過去の実績 (過去3年間)

(単位：千円)

年 度	研 究 事 業 名	研 究 課 題 名	補 助 額	所管省庁等
平成13年度	厚生科学研究費補助金 (厚生科学研究特別研究事業)	〇〇〇〇に関する研究	3,000	厚生労働省
	〇〇〇助成金	〇〇〇〇に関する研究	30,000	文部科学省
平成12年度	〇〇〇研究費	〇〇〇〇に関する研究	5,000	文部科学省
	〇〇〇〇研究 (分担)	〇〇〇〇に関する研究	5,000	環境省
平成11年度	〇〇〇研究費	〇〇〇〇に関する研究	5,000	(財)〇〇財団

直近年度から遡って過去3年間において、申請者が補助を受けた主要な研究事業について記入すること。(分担研究として実施したものを含む。)

※ 記入上の留意事項は添付しないこと。

書類提出時には、ページを付すこと。

重点研究分野コード表

番号	重点研究分野	研究区分
101	ライフサイエンス	ゲノム
102	ライフサイエンス	医学・医療
103	ライフサイエンス	食料科学・技術
104	ライフサイエンス	脳科学
105	ライフサイエンス	バイオインフォマティクス
106	ライフサイエンス	環境・生態
107	ライフサイエンス	物質生産
189	ライフサイエンス	共通基礎研究
199	ライフサイエンス	その他
201	情報通信	高速ネットワーク
202	情報通信	セキュリティ
203	情報通信	セキュリティ・アプリケーション
204	情報通信	家電ネットワーク
205	情報通信	高速通信ネットワーク
206	情報通信	高速通信ネットワーク
207	情報通信	大容量・高速記憶装置
208	情報通信	入出力 *1
209	情報通信	認識・意味理解
210	情報通信	センサ
211	情報通信	マンマシンインターフェイス評価
212	情報通信	ソフトウェア
213	情報通信	デバイス
289	情報通信	共通基礎研究
299	情報通信	その他
301	環境	地球環境
302	環境	地域環境
303	環境	環境リスク
304	環境	循環型社会システム
305	環境	生物多様性
389	環境	共通基礎研究
399	環境	その他
401	ナノテク・材料	ナノ物質・材料 (電子・磁気・光学応用等)
402	ナノテク・材料	ナノ物質・材料 (構造材料応用等)
403	ナノテク・材料	ナノ情報デバイス
404	ナノテク・材料	ナノ医療
405	ナノテク・材料	ナノバイオロジ
406	ナノテク・材料	エネルギ界面・環境応用
407	ナノテク・材料	表面・界面
408	ナノテク・材料	計測技術・標準
409	ナノテク・材料	加工・合成・プロセス
410	ナノテク・材料	基礎物性
411	ナノテク・材料	理論・シミュレーション
412	ナノテク・材料	計算・理創成材料
489	ナノテク・材料	安全・環境基礎研究
499	ナノテク・材料	その他

番号	重点研究分野	研究区分
501	エネルギー	化石燃料・加工燃料
502	エネルギー	原子力エネルギー
503	エネルギー	自然エネルギー
504	エネルギー	省エネルギー・エネルギー利用技術
505	エネルギー	環境に対する負荷の軽減
506	エネルギー	国際社会への協力と貢献
589	エネルギー	共通基礎研究
599	エネルギー	その他
601	製造技術	高精度技術
602	製造技術	精密部品加工
603	製造技術	高付加価値制限技術(マイクロマシン等)
604	製造技術	環境負荷最小化
605	製造技術	品質管理・製造現場安全確保
606	製造技術	先進的ものづくり
607	製造技術	医療・福祉機器
608	製造技術	システム・プロセス
609	製造技術	システム
689	製造技術	共通基礎研究
699	製造技術	その他
701	社会基礎	異常自然現象発生メカニズムの研究と予測技術
702	社会基礎	災害被害最小化応用技術研究
703	社会基礎	超高度防災支援システム
704	社会基礎	事故対策技術
705	社会基礎	社会基礎の劣化対策
706	社会基礎	有害危険・危険物質等安全対策
721	社会基礎	自然と共生した美しい生活空間の再構築
722	社会基礎	広域地域研究
723	社会基礎	水循環系健全化・総合水管理
724	社会基礎	新しい人と物の流れに対応する交通システム
725	社会基礎	パリアティブデザイン
726	社会基礎	ユニバーサルデザイン化
789	社会基礎	共通基礎研究
799	社会基礎	その他
801	フロンティア	宇宙科学 (天文を含む)
802	フロンティア	宇宙開発利用
821	フロンティア	海洋科学
822	フロンティア	海洋開発
889	フロンティア	共通基礎研究
899	フロンティア	その他
900	人文・社会	
1000	自然科学一般	

*1：情報通信システムとの入出力を容易にする技術。ただし、研究区分番号209～211を除く。

研究キーワード候補リスト

番号	研究キーワード
1	遺伝子
2	ゲノム
3	蛋白質
4	糖
5	脂質
6	核酸
7	細胞・組織
8	生体分子
9	生体機能利用
10	発生・分化
11	脳・神経
12	動物
13	植物
14	微生物
15	ウイルス
16	行動学
17	進化
18	情報工学
19	プロテオーム
20	トランスレシヨナルリサーチ
21	移植・再生医療
22	医療・福祉
23	再生医学
24	食品
25	農林水産物
26	組織・食品
27	バイオテクノロジー
28	痴呆
29	癌
30	糖尿病
31	循環器・高血圧
32	アレルギー・ぜんそく
33	感染症
34	脳神経疾患
35	老化
36	薬剤反応性
37	バイオ関連機器
38	フォトニックネットワーク
39	先端の通信
40	有線アクセス
41	インターネット高度化
42	移動体通信
43	衛星利用ネットワーク

番号	研究キーワード
44	暗号・認証等
45	セキュア・ネットワーク
46	高信頼性ネットワーク
47	著作権・コンテンツ保護
48	ハイパフォーマンス・コンピューティング
49	デバイス・プラットフォーム・コンピューティング
50	アルゴリズム
51	モデル化
52	可視化
53	解析・評価
54	記憶方式
55	データベース
56	大規模ファイルシステム
57	マルチモーダルインターフェース
58	画像・文章・音声等認識
59	多言語処理
60	自動タブ付け
61	バーチャルリアリティ
62	エージェント
63	スマートセンサ情報システム
64	ソフトウェア開発効率化・安定化
65	ディレクトリ・情報検索
66	コンテンツ・アーカイブ
67	システムオンチップ
68	デバイス設計・製造プロセス
69	高密度実装
70	先端機能デバイス
71	低消費電力・高エネルギー密度
72	ディスプレイ
73	リモートセンシング
74	モニタリング(リモートセンシング以外)
75	大気現象
76	気候変動
77	水圏現象
78	土壌圏現象
79	生物圏現象
80	環境質量変化・予測
81	環境変動
82	有害化学物質
83	廃棄物処理
84	廃棄物再資源化
85	大気汚染防止・浄化
86	水質汚濁・土壌汚染防止・浄化

番号	研究キーワード
87	環境分析
88	公害防止・対策
89	生態系修復・整備
90	環境調和型農林水産
91	環境調和型都市基盤整備・建築
92	自然共生
93	政策研究
94	磁気記録
95	半導体超微細化
96	超高速情報処理
97	原子分子処理
98	走査プローブ顕微鏡(STM, AFM, STS, SNOM, 他)
99	量子ドット
100	量子細線
101	量子井戸
102	超格子
103	分子機械
104	ナノマシン
105	トンネル現象
106	量子コンピュータ
107	DNAコンピュータ
108	スピントロニクス
109	強相関エレクトロニクス
110	ナノチューブ・フラーレン
111	量子閉じ込め
112	自己組織化
113	分子認識
114	少数電子素子
115	高性能レーザ
116	超伝導材料・素子
117	高効率太陽光発電材料・素子
118	量子ビーム
119	光スイッチ
120	フォトニック結晶
121	微小共振器
122	テラヘルツ/赤外材料・素子
123	ナノコンタクト
124	超分子化学
125	MBE, エピタキシャル
126	1分子計測 (SMD)
127	光ピンセット
128	(分子) モーター
129	酵素反応

番号	研究キーワード
130	共焦点顕微鏡
131	電子顕微鏡
132	超薄膜
133	エネルギー全般
134	再生可能エネルギー
135	原子力エネルギー
136	太陽電池
137	太陽光発電
138	風力
139	地熱
140	廃熱利用
141	コージェネレーション
142	コージェネハイドレート
143	バイオオマース
144	天然ガス
145	省エネルギー
146	新エネルギー
147	エネルギー効率化
148	二酸化炭素排出削減
149	地球温暖化ガス排出削減
150	燃料電池
151	水素
152	電気自動車
153	LNG車
154	ハイブリッド車
155	超精密計測
156	光源技術
157	精密研磨
158	プラズマ加工
159	マイクロマシン
160	精密部品加工
161	高速プロトタイプング
162	超精密金型転写
163	射出成型
164	高速組立成型
165	高速伝送回路設計
166	微細接続
167	バーチャリアリティ
168	ヒューマンセンタード生産
169	複業企業共同生産システム
170	品質管理システム
171	低エン트로ピー化指向製造システム
172	地球変動予測
173	地震
174	火山
175	津波
176	土砂災害

番号	研究キーワード
177	集中豪雨
178	高潮
179	洪水
180	火災
181	自然災害
182	自然現象観測・予測
183	耐震
184	制震
185	免震
186	防災
187	防災ロボット
188	減災
189	復旧・復興
190	救命
191	消防
192	海上安全
193	非常時通信
194	危機管理
195	リアルタイムマネージメント
196	国土開発
197	国土整備
198	国土保全
199	広域地域
200	生活空間
201	都市整備
202	過密都市
203	水資源
204	水循環
205	流域圏
206	水管理
207	淡水製造
208	湧水
209	延命化
210	長寿命化
211	コスト削減
212	環境対応
213	建設機械
214	建設マネージメント
215	国際協力
216	国際貢献
217	地理情報システム (GIS)
218	交通事故
219	物流
220	次世代交通システム
221	高度道路交通システム (ITS)
222	走行支援道路システム (AHS)
223	交通需要マネージメント

番号	研究キーワード
224	パリアフリー
225	ユニバーサルデザイン
226	輸送機器
227	電子航法
228	管制
229	ロケット
230	人工衛星
231	再使用型輸送系
232	宇宙インフラ
233	宇宙環境利用
234	衛星通信・放送
235	衛星測位
236	国際宇宙ステーション (ISS)
237	地球観測
238	惑星探査
239	天文
240	宇宙科学
241	上空利用
242	海洋科学
243	海洋開発
244	海洋微生物
245	海洋探査
246	海洋利用
247	海洋保全
248	海洋資源
249	深海環境
250	海洋生態
251	大陸棚
252	極地
253	哲学
254	心理学
255	社会学
256	教育学
257	文化人類学
258	史学
259	文学
260	法学
261	経済学